

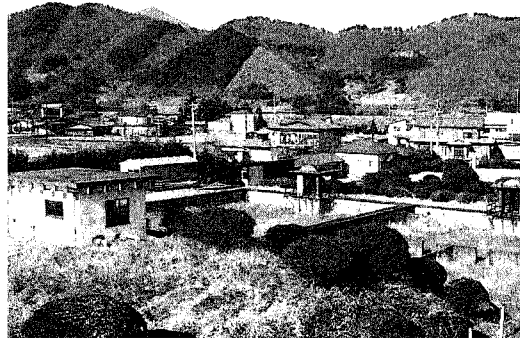
生活環境の整備

緑豊かな自然環境に恵まれ、特に水の豊富なことは、他市に自慢できるところであります。

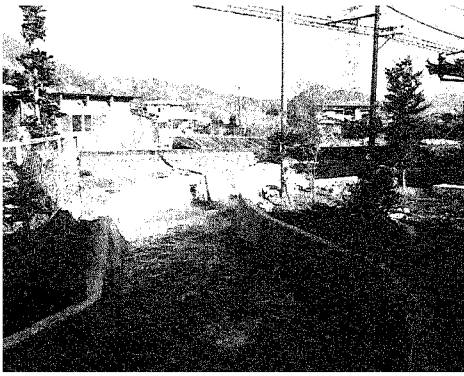
市街地をながれる河川・水路は農業用水・防火用水とともに都市排水機能を併せてもっておりますが、市長と語る会での谷村本町自治会の一致した要望は、家中川、寺川、女川、中川などの水路改修でありました。快適な生活が営まれ景観にも優れた改修工事を年次計画により行い、「水の都」のイメージづくりに努めてまいりたく考えております。

上水道につきましても、清浄にして豊富な水を安定的に供給するため、施設全体について検討を加えてまいります。当面は、配水量と配水池とのバランスを考慮しながら、滝下浄水場内に配水池を増

配水池増設予定地



河川改修



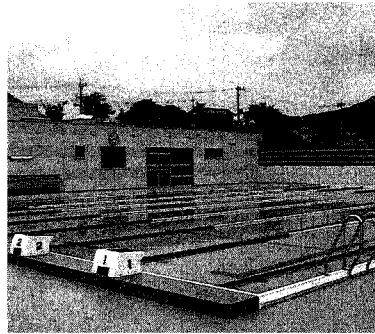
設する計画であります。簡易水道につきましても、新水源を設け、順次施設の整備を進めてまいります。

環境衛生につきましても、ごみなどの一般廃棄物の処理が大月都留広域事務組合において順調に処理されております。今後は、ごみ減量作戦のための施策も実施してまいりたいと考えております。

昨年七月、この周辺にオープンされた勤労者体育施設（サン・スポーツランド都留）の多目的広場、市民の皆様にご利用いただき、野外活動を通じてコミュニティーの

場として若い世代の活力を育む糧となり、周辺の環境づくりに役立っております。

今後、大月市に通ずる大口橋の架設等の整備を行い、市民の皆様のご利便を図ってまいります。



サン・スポーツランド都留



住民福祉



ホームヘルパーによる介護

高齢化社会を迎え、ねたきり、一人暮らしの高齢者が増えてきており、これらの人々の援護サービスもニーズに合った適格な対応が必要とされております。

こうした中で、これからの援護は、保健・医療・福祉の分野の連携と、地域における近隣互助グループ、ボランティアグループ等の有機的連携による、総合的なシステム作りが必要とされております。本市では、早くから一人暮らし老人の介助組織網を設置し、その介助に努めておりますが、これからこのシステムをさらに拡大した中で、ねたきり老人、障害者、母子、父子、老人世帯等の要援護者を地域総ぐるみで支えて行く、ふれあい福祉システム推進会議を設置し、多様化していく福祉ニーズに対応できる総合的なシステム

作りを推進してまいります。おとしよりにとって望ましい生活の場は、家庭であり、地域社会であります。

主婦の就労の増加、介護者の高齢化、核家族化の進行は、在宅老人にとって好まれない条件であります。そのような中で、保健婦、看護婦による往診、リハビリテーション、ヘルパー、地域ボランティアによる生活介護は、在宅生活の大きな助けとなっております。こうした助けを有効、かつ総合的に推進するため、老人保健施設を含めた病院の設置とともに、一層充実した福祉の推進を図ってまいります。



ふれあい給食会